

川柳 二十九年一月 「虹」「流れる」

虹が出る	つかむつもりで	追いかける	掘	輝規
晴れるよう	流れる雲に	頼み込む	掘	輝規
テレビ見て	流れるニュース	ボケ予防	掘	輝規
虹を見て	昭和の頃を	思い出す	谷口	明世
イライラも	一緒に流して	トイレ出る	谷口	明世
さんずいが	流れて消えて	酒が西	谷口	明世
時代にも	人にも素直に	流されて	山本	昭子
消えないよ	心の中に	かかる虹	山本	昭子
大嫌い	思ってた都事に	虹が見え	山本	昭子
あつ虹だ	何かいいこと	ありそうな	西沢	秀子
浮き草や	流れ流れて	大海へ	西沢	秀子
知らずとも	流れにそえば	目的地	西沢	秀子
流れ星	いったい何処から	来るのかな	伊藤	直人
流されて	辿り着いたは	ここ舞鶴	伊藤	直人
虹色に	輝く人生	送りたい	伊藤	直人
喜びの	虹かかったよ	合格通知	藤原	輝治
虹染は	百年住宅	支えてる	藤原	輝治
雪解けの	流れる水は	手が燃える	藤原	輝治